

第1号議案

令和5年度 事業報告

こくら保育園

令和 5 年度 事業報告

一はじめに

那覇市の保育施設の現状について、3年ほど前から少子化による保育園の定員割れや、保育士不足が深刻になっています。認可保育園では利用定員を減にしたり、保育士確保のため有料職業紹介や人材派遣等を活用する園が増えてきました。当園でも保育士確保は最大の課題です。研修時間・年休取得・休憩時間・事務時間を確保するための対応策として、パート保育士・子育て支援員・保育士補助等を導入しました。職員からは一定の評価を得ることが出来ましたが保育環境としては好ましい状況ではありません。

少子化で影響を受けている認可外保育園では令和 5 年度末に 10 ヶ園の保育園が廃止になり、令和 6 年度も 5 月現在 3 ヶ園が休止や廃止に追い込まれています。また、保護者の育児休業の取得率が高くなる中、特に 0 歳児の入園希望が減少し今後、保育園の運営にも影響を与えることが予想されます。

保育活動については新型コロナウイルス感染症が、5 類の季節型インフルエンザと同等になり、徐々に日常を取り戻しましたが、保育園は集団保育なので感染予防対策に配慮しながら保育を実施しました。5 類に引き下げられたことにより保育活動の場が広がり様々な体験を通して園児の成長した姿が見られました。地域の行事への参加、食糧支援事業への参加、近隣の保育園・こども園・小学校との交流、親子で園行事へ参加する等、地域との繋がりや親子の絆を深めることが出来ました。

職員の資質向上について令和 5 年度は第 35 回保育研究大会で発表することが決定していたので、毎月第 4 土曜日を園内研修の日として研究を進めること

にしました。研究テーマは日頃の保育活動で気になっていた「絵本」について学びを深めたいという意見で一致「絵本が大好きな子になるために」のテーマで取り組みました。保護者の方にも園内研修の日には家庭保育の協力をして頂き令和5年9月9日(土)に無事に発表することが出来ました。保育園の絵本環境の見直しから課題について全職員で共通理解をすることが出来ました。課題についてはこれからも継続することを確認し次のステージに繋いでいくことになりました。

子ども家庭庁が発足して以来保育園の役割も多様化してきたように感じています。

因に那覇市で取り組みを始めた「医療的ケア児」は、公立の天久みらいこども園で実施されており、「こども誰でも通園制度」については公立認定久場川こども園がモデル園としてスタートし、令和8年度から本格的に実施する予定になっています。

—保育園の具体的実施事業—

- 1、 園内研修の実施
- 2、 発達支援保育の実施
- 3、 延長保育の実施
- 4、 食育活動の実施
- 5、 保護者相談事業の実施(育児相談・栄養相談・健康相談)
- 6、 保育体験の実施
- 7、 保育士養成校の実習生受け入れ
- 8、 那覇みらい支援学校現場実習受け入れ

1、施設事業運営

(1) 児童処遇

イ、健康管理

健康診断の実施状況 (前期 令和5年5月11日)

嘱託医 上原 正照 (開邦クリニック)

	いちご組 (0歳児)	もも組 (1歳児)	さくらん ぼ組	みかん組 (3歳児)	うめ組 (4歳児)	かき組 (5歳児)	合計
受診児童数	14人	27人	27人	30人	24人	19人	141人
所見内容							
湿疹	2人	2人				1人	
喘息気味				1人	1人		
虫刺され		1人			3人		
水いぼ		1人					
アデノイド肥大						1人	

健康診断の実施状況 (後期 令和5年11月16日)

嘱託医 上原 正照 (開邦クリニック)

	いちご組 (0歳児)	もも組 (1歳児)	さくらん ぼ組	みかん組 (3歳児)	うめ組 (4歳児)	かき組 (5歳児)	合計
受診児童数	18人	27人	27人	30人	24人	19人	145人
所見内容							
喘鳴		2人					
湿疹・乾燥	1人	2人					
水いぼ	1人						
アトピー			1人		2人		
サメ肌					3人		

尿・ぎょう虫検査の結果

前期 5月10日				後期 11月16日		
クラス名	受検者数	蛋白・潜血	ぎょう虫	クラス名	受検者数	蛋白・潜血
いちご組 (0歳児)	14人	1人		いちご組 (0歳児)	18人	
もも組 (1歳児)	27人			もも組 (1歳児)	27人	
さくらんぼ組 (2歳児)	27人			さくらんぼ組 (2歳児)	27人	
みかん組 (3歳児)	30人			みかん組 (3歳児)	30人	
うめ組 (4歳児)	24人			うめ組 (4歳児)	24人	
かき組 (5歳児)	19人			かき組 (5歳児)	19人	
合計	141人			合計	145人	

※前期に蛋白、潜血で要再検査の園児1人は病院受診をして異常なし。

伝染病の発生状況

病名	罹患人数
新型コロナウイルス	11人
インフルエンザ	65人
胃腸炎	48人
RSウイルス	9人
溶連菌感染症	8人
手足口病	3人
プール熱	4人
おたふくかぜ	1人
ヘルパンギーナ	1人
ヒトメタウイルス	1人
とびひ	2人
結膜炎	1人

歯科検診の結果報告 (前期 令和5年5月10日)

嘱託医 金城 朝和 (おおはし歯科)

	いちご組 (0歳児)	もも組 (1歳児)	さくらん ぼ組	みかん組 (3歳児)	うめ組 (4歳児)	かき組 (5歳児)	合計
児童数(人)	14	27	27	30	24	19	141
受診児童数(人)	14	27	27	30	24	19	141
総未処置歯数(C)(本)	0	0	0	0	16	2	18
総処置数(O)(本)	0	0	0	0	0	0	0
総喪失数(△)(本)	0	0	0	0	0	0	0
要観察歯(CO)(本)	0	0	2	0	0	0	0
むし歯なし(人)	14	27	27	30	19	19	136
その他の疾病	癒合歯2人 舌小帯異常 1人	粘液腫1人 反対咬合2人 舌小帯異常1人 エナメル管形成不 全1人	軟組織の異常 1人 不正咬合1人 癒合歯1人 過剰歯1人	癒合歯1人 反対咬合1人 開口1人 過剰歯1人	軟組織の異常1人 舌小帯1人 反対咬合1人 不正咬合1人 開口1人 歯のぐらつき1人	過剰歯1人	

歯科検診の結果報告 (後 期 令和 5 年 11 月 8 日)

嘱託医 金城 朝和 (おおはし 歯科)

	いちご組 (0歳児)	もも組 (1歳児)	さくらん ぼ組	みかん組 (3歳児)	うめ組 (4歳児)	かき組 (5歳児)	合計
児童数 (人)	18	27	27	30	24	19	145
受診児童数(人)	18	27	27	30	24	19	145
総未処置歯数 (C) (本)	1	4	0	1	16	1	23
総処置数 (O) (本)	0	0	0	0	0	0	0
総喪失数 (△) (本)	0	0	0	0	0	0	0
要観察歯 (CO) (本)	0	0	0	0	0	0	0
むし歯なし (人)	17	26	27	29	19	18	136
その他の疾病	癒合歯 3 人	反対咬合 2 人 エナメル質形成 不全 1 人	癒合歯 3 人	反対咬合 2 人	反対咬合 1 人		

ロ、栄養管理

- ・栄養士が作成した献立で離乳食、幼児食を実施。
- ・毎月1回給食会議を開催。
- ・栄養定期報告書を作成し保健所へ提出。

(結果については栄養目標に対する給食及び栄養比率について問題なし。)

歯科検診の結果報告 (後 期 令和5年11月8日)

嘱託医 金城 朝和 (おおはし歯科)

	いちご組 (0歳児)	もも組 (1歳児)	さくらん ぼ組	みかん組 (3歳児)	うめ組 (4歳児)	かき組 (5歳児)	合計
児童数 (人)	18	27	27	30	24	19	145
受診児童数(人)	18	27	27	30	24	19	145
総未処置歯数 (C) (本)	1	4	0	1	16	1	23
総処置数 (O) (本)	0	0	0	0	0	0	0
総喪失数 (△) (本)	0	0	0	0	0	0	0
要観察歯 (CO) (本)	0	0	0	0	0	0	0
むし歯なし (人)	17	26	27	29	19	18	136
その他の疾病	癒合歯3人	反対咬合2人 エナメル質形成 不全1人	癒合歯3人	反対咬合2人	反対咬合1人		

ロ、栄養管理

- ・栄養士が作成した献立で離乳食、幼児食を実施。
- ・毎月1回給食会議を開催。
- ・栄養定期報告書を作成し保健所へ提出。

(結果については栄養目標に対する給食及び栄養比率について問題なし。)